【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成25年3月7日(2013.3.7)

【公表番号】特表2007-521357(P2007-521357A)
【公表日】平成19年8月2日(2007.8.2)
【年通号数】公開・登録公報2007-029
【出願番号】特願2006-514290(P2006-514290)
【国際特許分類】
*Ｃ０８Ｌ　33/06　(2006.01)*
*Ｃ０８Ｌ　67/02　(2006.01)*
*Ｃ０８Ｌ　79/08　(2006.01)*
*Ｃ０８Ｌ　1/02　(2006.01)*
*Ｃ０８Ｋ　3/18　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｌ　33/06
Ｃ０８Ｌ　67/02
Ｃ０８Ｌ　79/08　Ａ
Ｃ０８Ｌ　1/02
Ｃ０８Ｋ　3/18

【誤訳訂正書】
【提出日】平成25年1月17日(2013.1.17)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
室温で固体のポリマーを作成するのに用いるポリマー前駆体分散液であって、
前記ポリマー前駆体分散液は、ポリマー前駆体と、体積平均長さが０．０１～１００マイクロメートルであるマイクロパルプとを含んでなり、
前記ポリマー前駆体は、エチレングリコール、１，４－ブタンジオール、メチルメタクリレート、及びポリアミド酸プレポリマーを含むジメチルアセトアミドからなる群より選ばれ、
前記マイクロパルプは、前記ポリマー前駆体分散液の０．０１～５０重量パーセントを構成し、
前記マイクロパルプが前記ポリマー前駆体中で生成される、前記ポリマー前駆体分散液。
【請求項２】
請求項１に記載のポリマー前駆体分散液を用いて作成されたポリマー。
【請求項３】
請求項２記載のポリマーを含んでなる造形品。
【請求項４】
室温で固体のポリマーを作成するのに用いるポリマー前駆体分散液において、マイクロパルプをポリマー前駆体に組み込む方法であって、
有機繊維と、ポリマー前駆体と、固体成分とを接触させ、ここで前記ポリマー前駆体は、エチレングリコール、１，４－ブタンジオール、メチルメタクリレート、及びポリアミド酸プレポリマーを含むジメチルアセトアミドからなる群より選ばれ、

前記有機繊維、前記ポリマー前駆体および前記固体成分を攪拌して、前記有機繊維を体積平均長さが０．０１～１００マイクロメートルであり、前記ポリマー前駆体に分散されたマイクロパルプへと変形し、そして

場合により前記固体成分を除去する、

ことを含んでなり、

前記マイクロパルプは、前記ポリマー前駆体分散液の０．０１～５０重量パーセントを構成する、前記方法。